

オステオスパーマム アキラ・シリーズ

学名: *Osteospermum ecklonis*

種子粒数の目安: 70 から 100 粒/グラム)

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.8 から 6.2、また EC は 0.75mmhos/cm(1:2)を維持する

播種

プラグトレイサイズ

105 穴くらいの大きなサイズのトレイによる生産が可能(105 穴のようにより大きなサイズのトレイを用いることで、育苗の初期段階から分枝の発達が進められ、小さなサイズのトレイで生産された場合よりも育苗期間の短縮につながる)。アキラは同様に 288 穴サイズのトレイを用いての生産も可能です。【粗めのバーミキュライトで種子が隠れるくらいに覆土しましょう。水分が十分維持された条件で、最良の発芽結果を得ることができます】

ステージ 1 - 発芽日数は 5,6 日

温度: 発芽温度は 18 から 20°C

光条件: 発芽には光は不要

水分: 発芽時は、水分レベルをやや湿潤の level 4 に維持

湿度: 子葉が発生する頃までは相対湿度を 95 から 97%

ステージ 2

温度: 昼間 20 から 22°C 夜間 16 から 17°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)を上限とする

水分: ステージ 2 においては、やや湿潤の level 4 から中位の level 3 の間で維持する

肥料: リン酸の低い硝酸態の肥料をレート 1(100ppm(N)以下、EC:0.7 mS/cm)で与える

ステージ 3

温度: 昼間 20 から 21°C 夜間 16 から 17°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)を上限とする

水分: より幅をもたせた水分レベルで管理する。具体的には、大枠ではやや湿潤(level 4)から中位(level 3)の範囲で維持するが、3 と 4 の間で(かん水の前に)やや乾燥(level 2)させる

肥料: 肥料の濃度をレート 2(100-175ppm (N))に上げる。培地の EC は 0.7-1.0mS/cm(1:2)、pH は 5.8 から 6.2 で維持する

矮化剤: プラグ育苗の段階では特には不要。必要であれば、播種後 3 週をめぐりに、プラグが色づいてから B ナインを 2,500 から 3,500ppm で一度散布してもよい

ステージ 4

温度: 昼間 18 から 20°C 夜間 16°C

光条件: 温度が適正であれば 54,000 ルクス(5,000 f.c.)まで可

水分: ステージ 3 と同じ

肥料: ステージ 3 と同じ

鉢上げから出荷まで

コンテナサイズ

10cm 前後のポットが適当

用土

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.8 から 6.2、初期養分は中庸とする

温度

昼間温度: 16-21°C

夜間温度: 10-13°C

※オステオスパーマムは、概して温度が低い条件で最良の状態を示す

照度

温度が適正な範囲内であればできるだけ高く維持する

肥料

移植後 1 週で、硝酸態を主体とした、リン酸が少なくカリウムの多い肥料を用いて、レート 3(175-225ppm(N)、(1.2-1.5mS/cm))から開始する。pH が 5.8 から 6.2、EC が 1.50 から 2.00mS/cm の適正域にあることを確認する

かん水

適度なかん水を続ける。多少、過湿の状態であっても株に影響は出ない

適度な条件を維持する。過湿、過度の乾燥はともに避ける

PGR(矮化剤)

矮化剤は、とくに低温の条件で生産されている場合は概ね不要である。低温条件が、自然な生長制御の要因としてベストである。温度が高い条件で生産される場合は、B ナイン 2,500ppm とサイコセル 500ppm タンクミックスを葉面散布することで丈の生長を抑制することが可能です。移植後 2 週をめぐりに 1 度の散布で十分である

ピンチ

ピンチは不要である。アキラは自然に良質な分枝を生み出す品種です

平均的な生産期間

播種から移植まで: だいたい 5 週前後(105 穴で生産の場合)。
288 穴の場合は約 4 週

移植から出荷まで(10cm 前後のポットサイズ): 時期や温度にもよるが、冬から春先にかけては 10 から 12 週、秋生産の場合は 7 から 9 週

※播種から出荷までの期間は、288 穴のような小さなトレイを用いた場合は 1 週ほど長くなる

病例等

害虫: スリップス、アブラムシに注意する

病気: メチオカルブを有効成分とする薬剤は花色に影響が出るので注意しましょう

定植場所や配置について

アキラ・シリーズは日あたりのよい場所を好みます

草丈: 40-50cm

株張: 40-50cm

定植時の株間: 25-30cm

注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産された植物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を十分にまた正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに則った正しい使用方法とるようにしましょう

EC 値について: EC(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、条件によっては適合し得ない場合もあります。